

CRNロックロール封函機部品表

品 番	部 品 名 称	品 番	部 品 名 称	品 番	部 品 名 称
CRN101	シリンダー	CRN133	引金バネ(大)	CR172	ホルダー
CR102	エアープラグ(PT1/4)	CRN135	プッシャーカム	CR173	ピ ス
CR103	エアチャック(PT1/4)			CR174a	針ガイド15m/m
CRN106	ピ ス	CRN136	座 金	CR174b	針ガイド18m/m
CRN106a	座 金	CR137	スプリングワッシャー	CR175	針押エバネ
CRN107	ナ ッ ト	CRN138	袋ナット	CR176	ストリップパー
CRN108	オ リ ン グ	CR139	押 し 板	CR177	皿 ネ ジ
CRN109	ピ ス ト ン	CR140	ピ ン	CR178	ワッシャー
CRN110	ピストンロッド	CR141	ピ ン	CR179	ナ ッ ト
CRN111	リ ン グ	CR142	爪用リング	CR180	マガジンフレーム
CRN112	オ リ ン グ	CR143	ピ ン	CR181	ステーブルホルダー
CRN113	オ リ ン グ	CR144	爪 受 台 (右)	CR182	マガジンケース
CR114	バルブバネ	CR145	爪 受 台 (左)	CR183	ピ ン
CRN115	オ リ ン グ	CR146a	爪15m/m(右)	CR184	マガジン固定バネ
CRN116	オ リ ン グ	CR146b	爪18m/m(右)	CR186	ガイドバネ
CRN117	バ ル ブ	CR147a	爪15m/m(左)	CR187	バネ押エ板
CRN119	バネケース	CR147b	爪18m/m(左)	CR188	ライナー(15m/mのみ)
CRN120	プッシャー	CR148	ピ ス	CR189	皿 ネ ジ
CRN121	プッシャーバネ	CR149	フロントガイド	CRN196	フ ッ ク
CRN122	プッシャープレート	CR150	本 体 A	CRN197	サイレンサー(PT1/4)
CRN123	オ リ ン グ	CR151	ピ ス	CRN198	ワッシャー
CRN124	シリンダー受台	CR152	マガジン固定金具	CRN199	キャップボルト
CR125	ピ ン	CR153	ボ ル ト	CRN201	止 メ 輪
CRN127	エキセンピン	CR154	ナ ッ ト	CRN202	スプリングピン
CRN129	引 金	CR165	キャップボルト	CRN203	カムピン
		CR167	押 し 棒	CRN205	ブ ッ シュ
		CR168	曲 げ 台	CRN206	プ レ ー ト
		CR169	針 押 し	CRN207	スクリュ
		CR170	針押しバネ		
		CR171	止 メ 輪		

CRNロックロール封函機取扱説明書

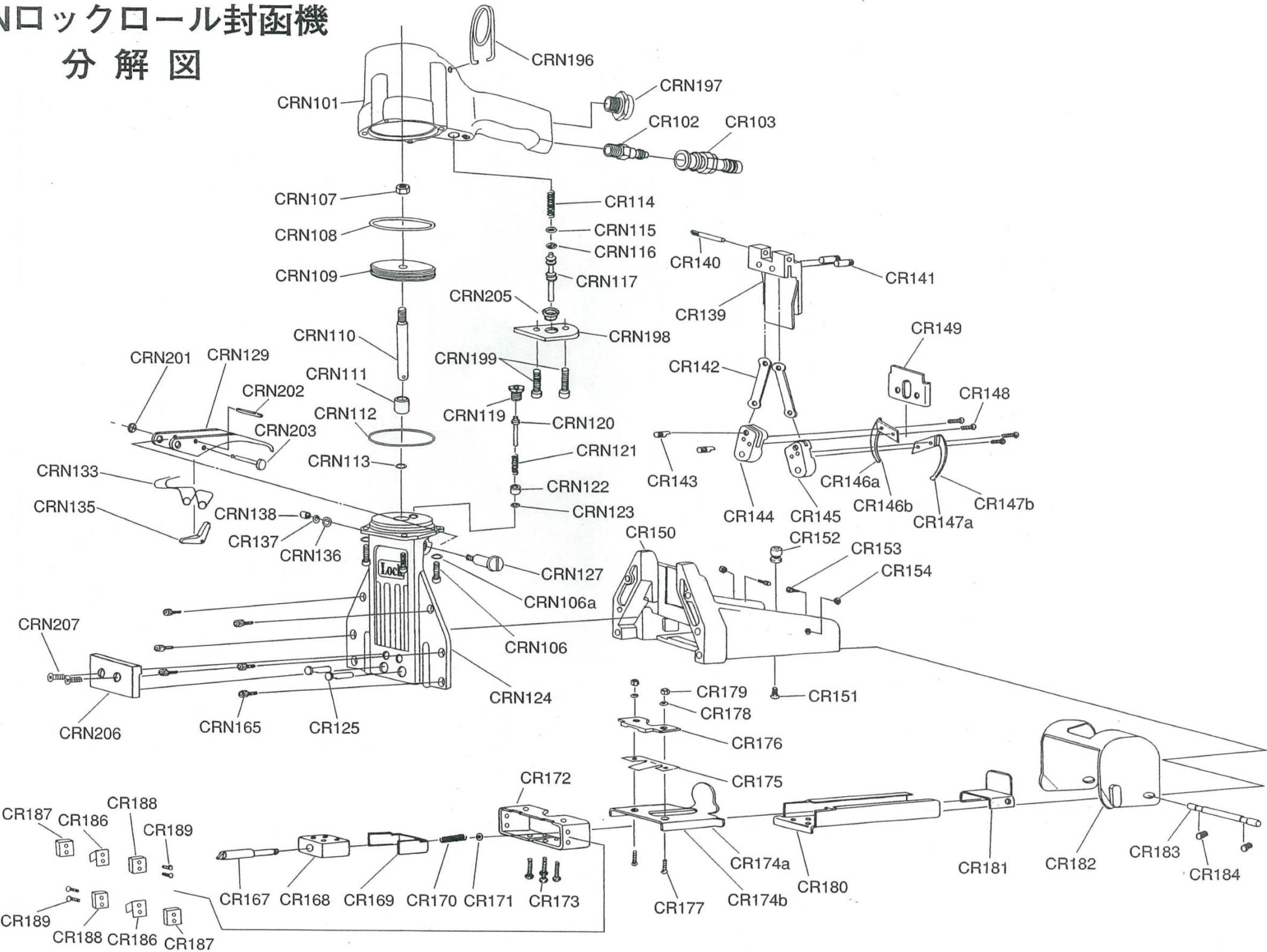
Lock **ロック株式会社**

営 業 本 部 〒581-0041 大阪府八尾市北木の本3-7
TEL 072-995-6901 FAX 072-995-6902
東 京 営 業 所 〒343-0031 埼玉県越谷市大里647-1-103
TEL 048-976-6907 FAX 048-976-6909
福 岡 営 業 所 〒816-0921 福岡県大野城市仲畑4-18-10
TEL 092-573-4868 FAX 092-573-4869
鹿 児 島 営 業 所 〒899-5652 鹿児島県姶良市平松5419-2
TEL 0995-73-4960 FAX 0995-73-4961
中 部 営 業 所 TEL 072-995-6901 FAX 072-995-6902(営業本部)

★標準仕様一覧

項目	製品名	CRNロックロール封函機
針 サ イ ズ		32 [㍉] ×15 [㍉]
		32 [㍉] ×18 [㍉]
針 組 込 本 数		1000本ロール
打込み深さ調節		2 段 階
標準使用空気圧力		6.0 ～ 7.0kg/cm ²
一発の針を打つための所要空気量		約2.0ℓ (大気圧)
コンプレッサーとの組合せ		400W (毎分20本)
ゴ ム ホ ー ス 接 続 部 寸 法		1/4B.ゴムホース内径φ6 [㍉]
外 形 寸 法		高さ 210 [㍉] ×巾 110 [㍉] ×長さ 215 [㍉]
製 品 重 量		2.8 kg
付 属 品		カ プ ラ ー 1ヶ 六角レンチ 1ヶ

CRNロックロール封函機
分 解 図

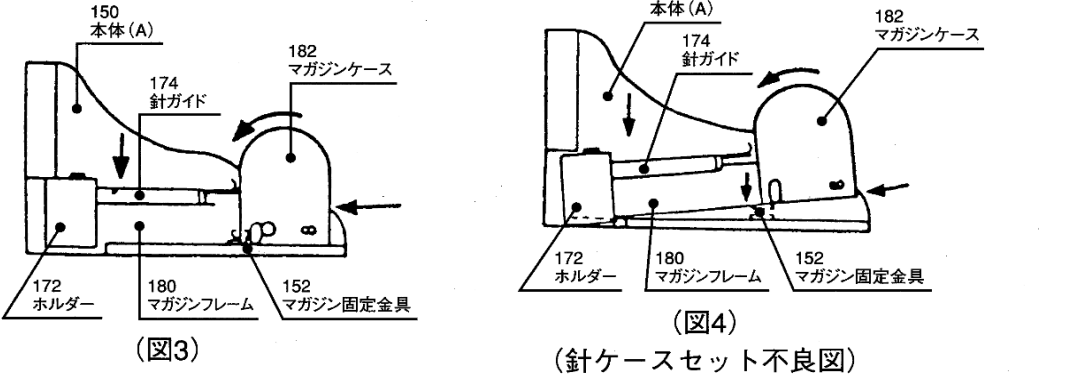
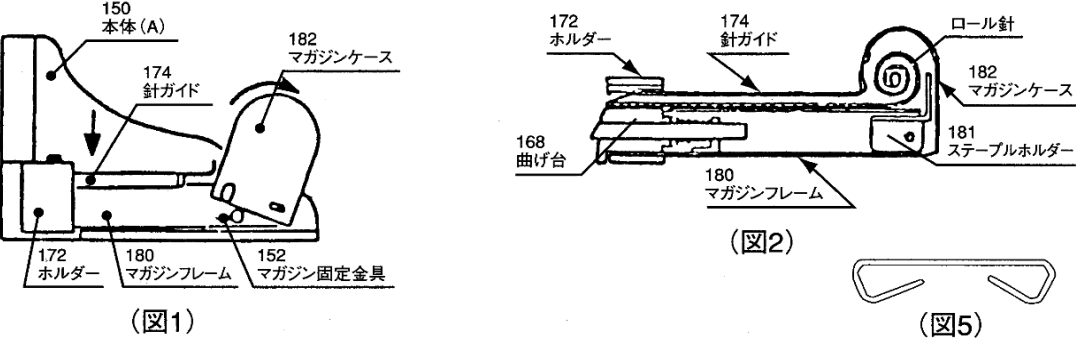


1. ステープルの装填方法

1) 封函機には1000本ロール巻ステープルが1個装填できます。

- (1) マガジンケース（182）を後側（矢印の方向）に倒し、本体A（150）から針ケースセットをはずして下さい。（図1）
- (2) ステープルをステープルホルダー（181）に置き、針ガイド（174）とマガジンフレーム（180）との隙間に差し込んで進めて下さい。（図2）
- (3) 自然に止ったら針ガイド（174）の上部の長穴からステープルを指で押えつけて、その先端が曲げ台（168）の前面と並ぶ所まで送り込んで下さい。（図2）
- (4) 針ケースにステープルを装填した後、マガジンフレーム（180）下面の穴を本体-A（150）に付いているマガジン固定金具（152）に正しく入れマガジンケース（182）を前にたおしてセットして下さい。（図3）
- (5) 正しくセットされていない場合は、針ケースセットが後部で浮いてしまいます。（図4）

注意：ステープルのあるなしに拘らず封函機を作動させると本体-A（150）の前方下面より一對の爪が出て来ますので絶対に手などを近づけないで下さい。



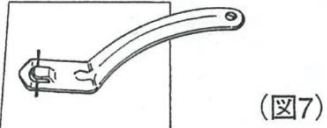
2) 注 油 **注意**

- (1) 給油は必ず使用前に毎日行って下さい。
- (2) 油の種類は、スピンドル油を使って下さい。
- (3) 機械の動きが円滑でない時は、本体-A（150）をはずして爪受台（144,145）の回転部や押板（139）のガイド部等にグリースを塗って下さい。
- (4) エアコントロールユニット内のオイラーは機械が20回作動して油が一滴滴落ちる程度に調節して下さい。 **注意**

4. 分解、組立を行う時の注意

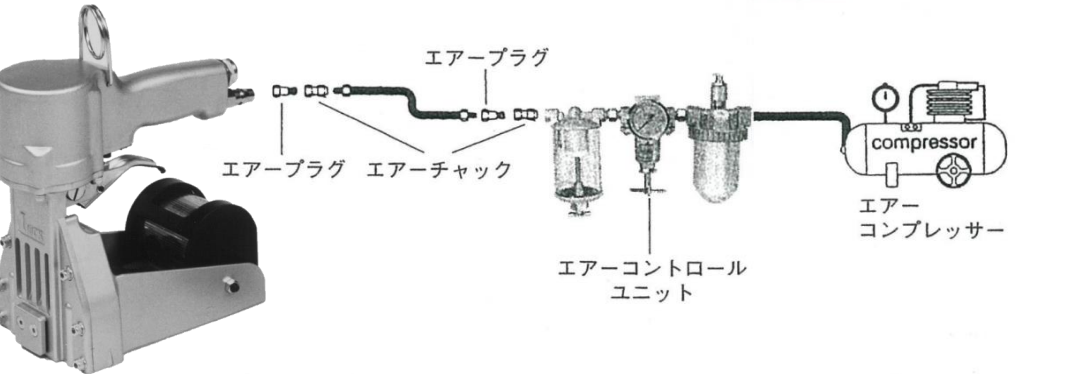
- (1) 添付のCRNロック封函機分解図を参考にして下さい。
- (2) 機械に不審な点がある場合は、皆様方で分解せず、必ず、アフターサービス係又は代理店に申し出て下さい。
- (3) 分解、組立、調整時には特に安全には留意して下さい。 **注意**

5. 封緘した針を抜き取る時は、別売の抜針器により簡単に抜きとることが出来ます。（図7）



6. 使用前後の注意

- (1) エアコントロールユニット（フィルター、レギュレーター、オイラー）を接続して下さい。
- (2) コンプレッサータンク及びエアフィルター内のドレーン（水埃）を抜いて下さい。更にホース内にもドレーンのないことを確認の上封函機に接続願います。（ドレーンが封函機に入りますと故障の原因となります。）尚、ホース内のドレーンチェックは封函機をエアダスターにつけかえエアを放出することで簡単に出来ます。
- (3) 封函機の回転部分、摺動部分等の運動する個所には見える範囲で毎日数滴注油して下さい。（機械をより長く使用出来ます。） **注意**

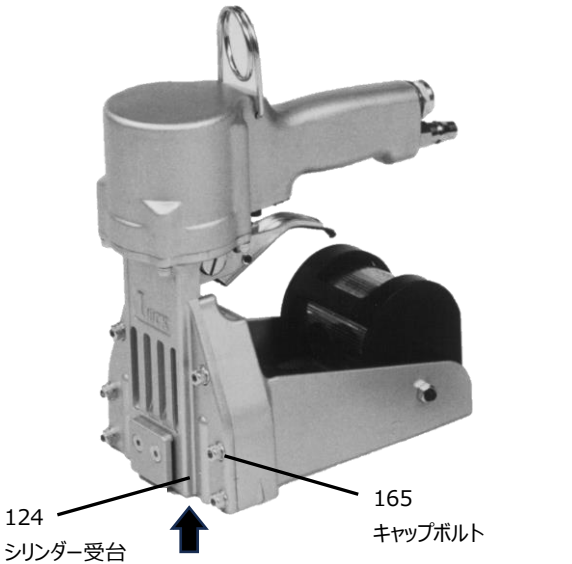
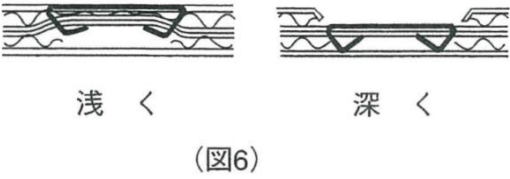


- (6) 装填完了後、空打ちを数度行ない、正常にクリンチされたステープルが出るか確認後、使用して下さい。（図5） **注意**

2. 打込み深さの調節方法

1) 打込み深さ

打込み深さは
シリンダー受台を本体Aに対して
上方にスライドすることで調節出
来ます。



- (1) 6本のキャップボルト（165）を均等に少し弛めて下さい。シリンダー受台（124）を矢印方向にその長穴分だけ持ち上げます。シリンダー受台の移動した寸法だけ浅く打つことができます。（図6）
- (2) 調節後はキャップボルト（165）を十分に締めて下さい。これを締め忘れたり使用中に弛みますと機械がこわれますのでご注意ください。

3. 保守点検

1) ステープルが詰った場合の処置

- (1) 本体-A（150）から針ケースセットをはずして下さい。（1項ステープルの装填方法を参照）
- (2) 針ケースセット内にある不良のステープルや、ゴミ等を取り除いて下さい
- (3) ステープルを抜く時は、針の進行方向（マガジンケース→曲げ台）にそって前方へ引き抜いて下さい。逆方向に抜くとガイドパネ（186）をこわします。
- (4) 以上の点検が済みましたら、ステープル装填方法に従って針ケースセットを本体-A（150）に戻し使用して下さい。 **注意**

ご使用上の注意事項

1. 説明書

- △注意** ・ご使用前に必ず取扱説明書を最後までお読み下さい。
・この取扱説明書は、使用者が常に内容を確認出来る様に保管して下さい。

2. 使用上の注意事項

- △注意** ・ハンド封函機
ステープラーの針と爪との出口に、手を触れるとケガをする事があります。本体とハンドルの間に指を入れないで下さい。
- △警告** ・エア封函機
動力源は圧縮空気（コンプレッサー）以外使用しないで下さい。
使用空気圧は標準使用の空気圧力の範囲内で使用して下さい。
作動レバーに指をかけた状態で、エアホースを接続されますと、作動する恐れがあり大変危険ですのでご注意ください。

3. 調整・修理・その他の注意事項

- △注意** ・子供の手の届かない所に保管して下さい。
・針の曲がりの調整や、針づまりを調整する時は、機械を下に向けて調整して下さい。針がハネて目や顔を傷つけることがあります。
・作業終了、点検、分解、修理はエアホースの継ぎ手を外して下さい。継ぎ手が付いていない場合は、エアホースの元栓を止めて下さい。
・ご不明の点がございましたら、メーカー又は代理店にご相談下さい。

4. 封函針の注意事項

- △注意** ・ステープルの切り口に注意する事。
鋭い刃になっていますから、人に投げて渡したり、刃先に手や指を触れないで下さい。
・割れたり、はずれて落ちたステープルは、すぐ拾って片付けて下さい。踏み付けて足に刺さることがあります。
・ステープルの銅メッキは錆びると強度が低下します。
水に濡らしたり、湿度の高い場所での保管をしないで下さい。
・1ケースの重量は、20kgを超える物もありますので、落下すると人体を損傷させたり、商品の中身が損傷します。
・ステープル（封函針）は、ステープラー（封函機）以外に使用しないで下さい。